

参加チーム各位

第10回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会
実行委員会

第10回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会「BLS アセスメント」について

第10回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会における「BLS アセスメント」の実施方法と採点基準をお知らせいたします。また、G2015 フローチャートを別紙の通り添付しますのでご確認ください。

記

■ 実施方法

1. BLS アセスメントは、各チーム（男女別）からのエントリー制とするが、全てのチームが出場することを推奨する。今大会においては、当日エントリーも受け付ける。
2. 選手が1名のチームは1名で行うこととする。（評価補助員を実施者Bとして行う）。
3. 実施者は、チームユニフォームを着用の上、参加すること（水に濡れた状態での参加は認められない）。
4. 実施者は受付時に名前と選手番号を申告する。
5. CPR および AED は、レールダル社製 CPR 練習用人形および AED トレーナーを用いて行い、意識なし、普段通りの呼吸なし、頸椎損傷なし、途中回復なしの成人に対する処置を行うこととし、吹き込みはフェイスシールドを使用する。（別紙 G2015 フローチャート参照）。
6. 実施者 A・実施者 B の指定に関しては、BLS アセスメント開始時に BLS アセスメント評価員より伝える。
7. 実施者は、BLS アセスメント開始前に人形および AED トレーナーを使用して1分間の公式練習を行うことができる。
公式練習中に器材の不具合が生じた場合は、速やかに BLS アセスメント評価員に申し出ること。
8. BLS アセスメントの撮影については、実施後に各チームの振り返りや BLS トレーニングの参考目的であれば、チーム関係者に限り映像を撮影することを許可する。
9. BLS アセスメントの評価に対する抗議は受け入れられない。
10. 実施日の翌日は、BLS アセスメントに参加したチームに対して、評価についてのフィードバックを行う。
C 評価のチームは参加し、手技の改善に努めること。また A、B 評価のチームもフィードバックを受けることを推奨する。

■ 採点基準

CPR および AED の処置は、以下のポイントを BLS アセスメント評価員の目視によって採点する。

- ① G2015 フローチャート（別紙、参照）通り、正しく進められているか？
- ② 胸骨圧迫（心臓マッサージ）、気道確保、人工呼吸の手技は正しく行われているか？
- ③ AED は正しく扱われているか？

■ 評価

実施者の CPR および AED の処置は、BLS アセスメント評価員によって、以下の 3 段階に評価される。
評価は以下の通りとし、チーム総合成績と並べて発表される。

評価	内容
A	良い (3つの採点基準が正しく行われていて、特に修正すべき点がない)
B	普通 (3つの採点基準が正しく行われているが、注意すべき点がある。)
C	悪い (3つの採点基準のうち、どれかひとつでも正しく行われていない)

(以上)